

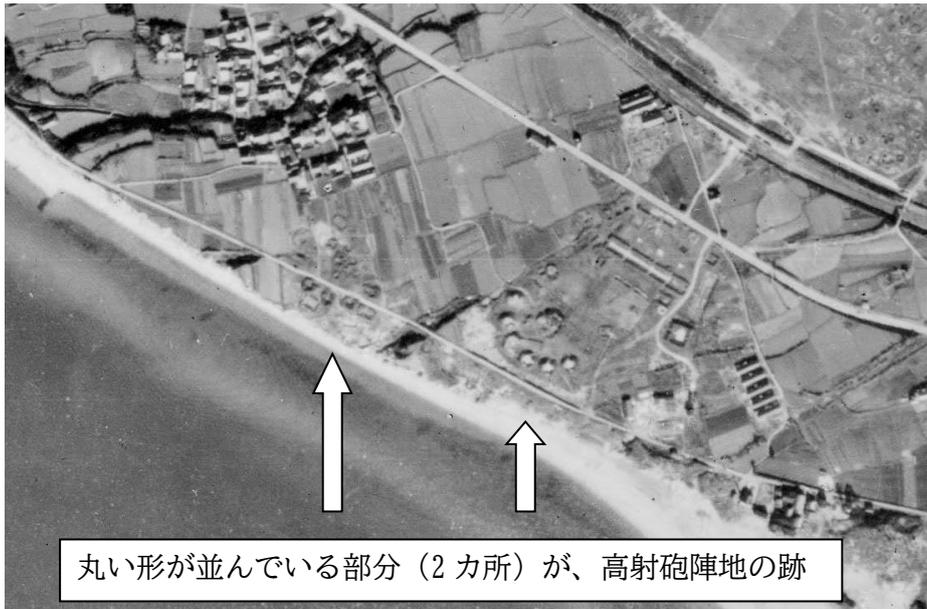
10. 林崎松江海岸（藤江小学校区）にあった高射砲陣地

1943年（昭和18年）、県立第四神戸中学校（現：県立星陵高等学校）の学生や近隣住民を動員して、敵機を迎え撃つための高射砲陣地が造られました。

高射砲を取り囲むための土壁は、周囲が40～50m、高さは7～8mもあったそうです。

1月19日の空襲時には4門の高射砲があり、迎撃を試みましたが、撃墜することはできませんでした。この空襲で高射砲陣地にも爆弾が落ち、数人の犠牲者が出ました。

その後、高射砲陣地は増強され、終戦時には、2隊12門の高射砲が備えられていました。



※写真は、終戦直後に撮られたもの

写真提供：国土地理院



藤江に配備されていたものと同型の高射砲

写真提供：靖国神社遊就館